

数学「数学Ⅰ」単元の評価規準

内容のまとめり	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)数と式	数と式	<ul style="list-style-type: none"> 二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 一つの文字に着目して式を整理したり、一つの文字に置き換え複雑な式を簡単な式に帰着させたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 式を見通しをもって取り扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 数を実数まで拡張する意義を認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
	実数	<ul style="list-style-type: none"> 数を実数まで拡張することの意義を理解している。 実数が直線上の点と1対1に対応していることを理解している。 簡単な無理数についての四則計算をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数を拡張してきた過程を考察することができる。 数の四則計算の可能性について考察することができる。 簡単な無理数を含んだ式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 	
	一次不等式	<ul style="list-style-type: none"> 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、一次不等式の解を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。 	
(2)図形と計量	三角比	<ul style="list-style-type: none"> 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 三角比やそれに関わる定理や公式を導くことやそれらを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
	三角形への応用	<ul style="list-style-type: none"> 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 	

数学「数学Ⅰ」単元の評価規準

内容のまとめり	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(3)二次関数	二次関数とそのグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
	二次方程式と二次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。 ・二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 	
(4)データの分析	データの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。